

我家の巨木？

もくたろう

我家の猫のひたいの程の庭に木がある。それは夏みかんの木で、樹齢は私が生まれる前からあるので相当の年月がたっている。

幹の太さは85cm、高さは6.5m、枝張りは南北6m東西6mである。

夏みかんの木として当然実がなる。其の夏みかんの実は、私が子供の時は余り数が出来ず、種が多く水分が少なくすかすかで、非常に酸っぱくて、だれも好き好んで食べた人はいなかった。

それが今では同じ夏みかんの木とは思えない位変貌してしまったのである。実の数は年によるが昔よりは多くなった。種の数是不変だが水分が多く、みずみずしく味は酸っぱいが、食べられないことはなく、私としては美味しく思う。

何十年とたった木が沢山の実をつけ、味が良くなるとはびっくり驚き、自然の力を感じる思いがした。

毎年沢山の実は生るので自家用では食べることが出来ず、知人に御裾分している。

なかでもある知人には非常に喜んでもらっている。どの様にして食べているかと聞くと、夏みかんの汁を絞って焼酎に入れて晩酌するとのこと。そして、夏みかんの皮を使って、砂糖漬にして、余すことなく使い切っているので嬉しく思う。

またある知人は、マーマレードを作って、我家に届けてくれるのである。

我家は夏みかんを絞って砂糖、蜂蜜を加えてジュースに飲んでいただけなので、同様に酒に夏みかんを絞って飲んだり、砂糖漬にした夏みかんの皮にチョコレートをまとわせ、チョコピールとして食べている。

我庭の中で一番大きい夏みかんの木が、いつまでも沢山の実をつけ人々に喜んでもらうことを願うだけである。

